

生育は回復傾向！ 適期中干し開始！

今回は生育の遅れが見られましたが、その後の好天で、分けつの発生が多く、葉色も濃くなってきており、生育は回復してきています。

しかし、ほ場により生育に差が見られ、ワキの発生が多いほ場もあります。

梅雨入りは6月10日で昨年より2週間ほど早くなっています。(新潟地方気象台発表)

1 6月11日現在の生育状況 (品種：コシヒカリ 拠点ほ場9か所の平均)

● 茎数は多く、草丈、葉数、葉色は並。

	本年値 (分施体系)	前年値 (前年比・差)	目標値 (カインタ [®] -生育目標値比・差)	本年値 (*一発体系)
草丈 (cm)	28	28 (100%)	30 (93%)	29
茎数 (本/m ²)	253	241 (105%)	230 (110%)	225
葉数 (葉)	6.9	7.2 (-0.3 葉)	7.2 (-0.3 葉)	6.6
葉色 (SPAD 値)	38.0	34.2 (+3.8)	37.0 (+1.0)	37.9

*一発体系：H30 から基肥一発体系(全量基肥施肥)数値を参考として掲載します

2 今後の管理ポイント

- (1) 田植え後 35 日を目安に本格的に落水し、中干しを始めましょう。
(50~60 株/坪植えでは、茎数が 1 株あたり 15 本程度の時)
- (2) ワキの症状が見られる場合は、中干し前であっても夜間落水(夜干し)を実施してガス抜きをし、土中に酸素を供給しましょう。
- (3) 梅雨入りしたため、今後は降雨日が増えることが予想されます。溝切り作業は遅れずに実施しましょう。溝は稲刈りまで使えるしっかりとしたものにししましょう。